

ゼロカーボンシティの実現と、有機系不要物のアップサイクルスキームを確立するため、産官学連携した「二酸化炭素排出量削減及び不要物のアップサイクルスキームの検証並びに災害対応力強化に関する協定」を締結しました。

二酸化炭素排出量削減と、革新的な不要物のアップサイクルスキームの確立、災害時における課題解決を図ります。

■具体的な協定内容について

特許出願中の「低熱分解型アップサイクルユニット(CA-CO3)」を使用し、市内公共施設の有機系不要物の処理実証実験を行います。

【実証実験について】

- ▼令和6年6月開始予定
- ▼狛江市ビン・缶リサイクルセンター、市庁舎、保育園等の不要物処理を予定

【低熱分解型アップサイクルユニット(CA-CO3)とは】

- ▼分別する必要なく、有機物を投入することができます。
- ▼200℃から300℃の低熱で有機物を分解するため、炭素は酸化せず炭酸塩として排出されます。
- ▼投入した有機物を、約300分の1に減容します。
- ▼処理後に発生する炭酸塩は、洗濯用石けんの助剤等の有効利用が可能です。

【災害時活用パッケージの提供】

低熱分解型アップサイクルユニットの他、充電式電池・給電可能バイク・大容量UPSなど、災害時にも活用可能な物資を提供いたします。

低熱分解型アップサイクルユニット
(CA-CO3)

